

住民主体の健康づくり・地域づくり活動における コーディネートスキルセミナー

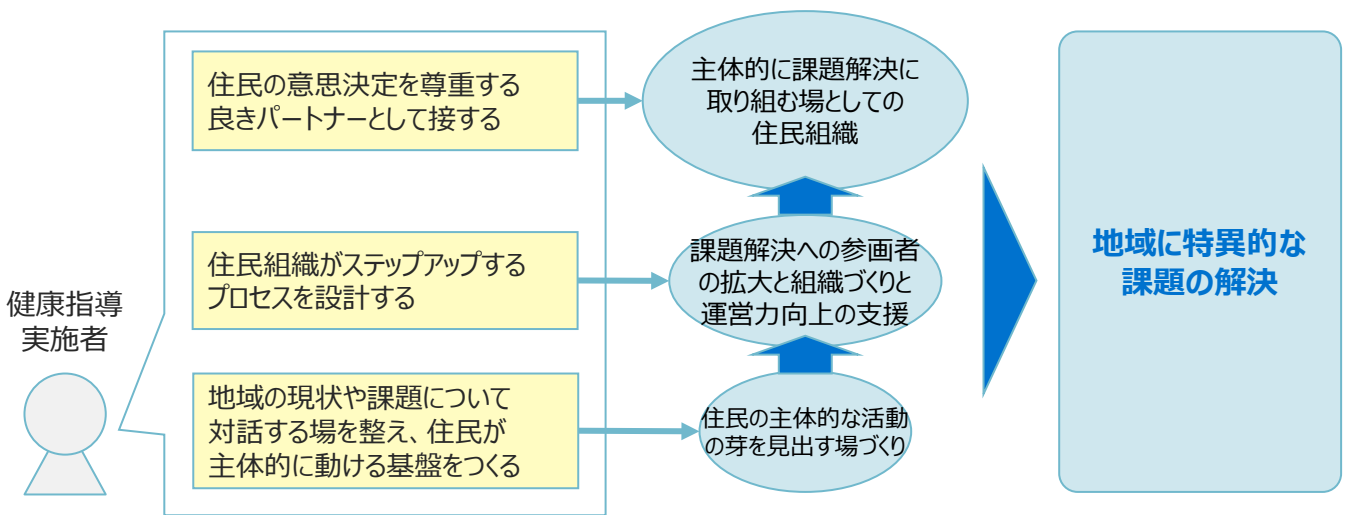
近年、住民の健康ニーズの多様化に伴い、地域ごとの健康課題に特異性がみられる中において、地域特性を踏まえて集団に共通する健康課題や地域保健関連施策を総合的に捉える視点を持った活動が重要とされています。地域特有の健康課題の解決にあたっては、“健康日本21（第二次）”や“ヘルスプロモーション”の中でも取り上げられているように、住民自身が主体的に問題解決に向けて取り組むことが重要であるとされています。しかし、住民主体の活動の推進支援の担い手として、保健師や管理栄養士等をはじめとした自治体の健康指導実施者に期待がなされている一方で、住民主体の活動を促し、コーディネートするスキルを体系的に学ぶ場は少ないと考えており、今回、健康指導実施者を対象としたセミナーを開催いたします。

住民主体の活動のコーディネートとは

住民が地域の課題に気づき、自ら目標を設定し、できることを考え、地域特異的な課題を組織となって主体的に解決するために、地域健康づくりの専門家として住民主体の活動をその成長過程に応じて支援し、育むことを指します。

健康指導実施者によるコーディネート

住民組織の活動



プログラム（予定）

※セミナー内容・スケジュールは予定ですので、変更の可能性があります。

第1回 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な住民の活動をコーディネートするスキルの習得にあたって重要な知識を講義形式で学んでいただく <ol style="list-style-type: none"> ① 住民主体とは何か？「コミュニティ・アズ・パートナー」の考え方を活かすには？ ② 住民組織が主体的行動を起こすために必要なことは？ ③ 専門職と住民組織の関係の持ち方、住民主体の活動の支援の方法 ④ 住民主体の活動を促す場づくりとは？
地域での実践 (約1カ月)	<ul style="list-style-type: none"> 第1回のセミナーで学んだことを各人が地域の現場で生かしていただく
第2回 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> 現場で生かしていただく中で得られた課題や疑問点を基にディスカッションを実施し、住民主体の活動の在り方について実践的な理解を深めていただく

日時

第1回 2022年12月16日（金） 15:00-17:00

第2回 2023年 1月20日（金） 13:00-15:00

開催
方式

オンライン開催（zoomでの実施）

参加費

無料

対象

自治体で健康指導を実施されている方かつ全2回に参加可能な方。

定員

50名

申込

事前登録制となりますので、12月15日までに申込サイトより必要事項を記入しお申込み下さい（申込が大幅に定員を超過した場合、期日前に募集を締め切る可能性があります）。https://www.jri.co.jp/seminar/221202_589/detail/
応募数が定員を上回った場合は抽選とさせていただきますので、予めご了承ください。
お申込みいただいた方には、後日、当日のセミナーサイトへのアクセス方法等についてご連絡差し上げます。

主催

株式会社日本総合研究所

外部講師プロフィール

広石拓司 氏

株式会社エンパブリック 代表取締役
ソーシャル・プロジェクト・プロデューサー

東京大学大学院薬学系修士課程修了。シンクタンク、NPO法人ETICを経て、2008年株式会社エンパブリックを創業。「思いのある誰もが動き出せ、新しい仕事を生み出せる社会」を目指し、ソーシャル・プロジェクト・プロデューサーとして、地域・企業・行政など多様な主体の協働による社会課題解決型事業の企画・立ち上げ・担い手育成・実行支援に多数携わる。著書に「専門家主導から住民主体へ」など多数。東京都の東京ホームタウンプロジェクトのアドバイザーとして、地域包括ケアにおける地域づくりの都内の現場に多数関わる。慶應義塾大学総合政策学部、立教大学大学院などの非常勤講師も務める。<https://empublic.jp>

お問い合わせ先

株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 担当：立林、山本、望月
〒141-0022 東京都品川区東五反田2丁目18番1号 大崎フォレストビルディング
Tel：080-2300-4753 メール：un_4837.group@jri.co.jp

